

中島 雅己(准教授)

Nakajima Masami

植物生体防御学研究室

Lab. of Plant Pathology

連絡先

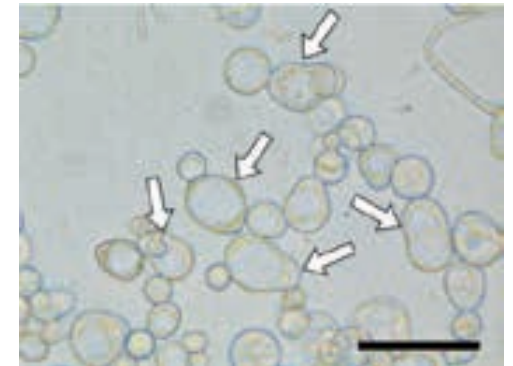
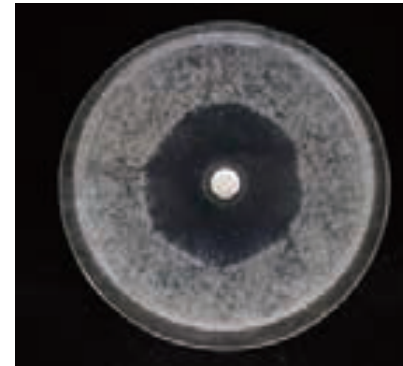
農学部研究棟 429号室



研究内容キーワード: 植物病原菌、病原性、生物的防除、抵抗性誘導

研究の概要 プロバイオティクスを用いた多機能型バイオコントロール技術の開発

年々増加の一途を辿る人口対策の一環として、食料増産と食の安心・安全の確保が叫ばれて久しく、その実現に向けたグリーン・イノベーションの一翼を担う農業技術の開発は人類が抱える直近の課題です。本研究では植物病害による収量損失率の持続的軽減化に力点を置き、植物自身が誕生以来種々の環境ストレスとの対峙の中で獲得・進化してきた消エネ型生体防御機構を導く「プライミング」と人類の食生活を長年支えてきた有用な内在性微生物群「プロバイオティクス」との二つに焦点を当て、ヒトへの健康増進をも加味した安全性と低コストを実現する植物保護微生物剤の創出を目的とします。



納豆菌を用いたカンキツ緑かび病菌の生育抑制効果
左図: 対峙培養による阻止帯形成
右図: 培養ろ液処理による菌体異常



納豆菌によるカンキツ緑かび病の抑制効果
左図: 納豆菌処理
右図: 滅菌水処理(対照区)

主な所属学会: 日本植物病理学会